

# おかあさんの想い

広島県 しょうりんじ 少林寺住職 みね 峯 おか 岡 しゅん 俊 とく 徳

今朝はおかあさんの想いというお話です。知り合いの方から聞きました。

私の母は鬼の様な母で、いつも僕につらくあたるから大嫌いでした。

僕が小学校四年生の時に母は亡くなりました。

それから新しい母が来ました。

僕は二度目の母には嫌われない様、良い子と思われる様努力しましたが、一年経って父も亡くなり、新しい母は家に帰らなくなりました。

僕は、一人ぼっちになり寂しさから生活が乱れ、不良仲間から誘われて犯罪に手を染め、少年院送りになりました。

少年院には面会日がありましたが、僕には面会に来る人はいませんでした。

しかしある日、僕に面会がありました。お手伝いのお婆さんです。「坊ちゃん捜しましたよ。坊ちゃんは、お母さんが嫌いだったわね。つらくあたるお母さんだったからね。でも、本心では無かったのよ。お母さんは先が、長く無い事を知り決心されたの。」

お母さんはこうおっしゃっていたわ

「私はこれから鬼の様な母になります。私が死んだらこの子には新しいお母さんが来るでしょう。新しいお母さんに慣れる為には、私がやさしいお母さんでないほうが良いと思うの。だからつらく当たる事にしたの。でもこの子が成人した時に、私が辛くあつた事は本心では無かった事を、本当は抱きしめたかった事を息子に伝えて下さい。」と、お手伝いのお婆さんはお母さんとの約束を伝えに来てくれたのでした。

僕はそれから変わりました。母の思いを胸にいただいて、母と一緒に生きています。